

動物専門学校学生向け譲渡ボランティアの活動紹介の取り組み概要

名古屋市では現在、令和元年度に策定した「人とペットの共生推進プラン」に基づき事業を実施しています。

今回は、名古屋市を中心にご尽力いただいている譲渡ボランティアの方々の活動を、将来、ペット業界に関わる人材になる専門学校 학생の方々に知っていただき、保護犬猫の新たな飼主探しの活動を広めていただくこと取り組みを実施しました。

1. 参加者

- ・ 譲渡ボランティア・・・3 団体
(NPO 法人ファミユ、花の木シェルター、保護猫カフェ笑猫)
- ・ 名古屋 ECO 動物海洋専門学校の学生 (動物看護師コース 約 38 名)

2. スケジュール

(1) キックオフ

日 時：令和 3 年 12 月 15 日 (水) 14 : 50~16 : 30

会 場：名古屋 ECO 動物海洋専門学校 602 号室

内 容：各ボランティアの方々の活動を学生に紹介し、取材先のマッチングと事前調整

(2) ボランティア活動現場の取材

日 時：令和 3 年 12 月~令和 4 年 2 月

内 容：学生がグループごとに各ボランティアの方々の活動現場を見学・取材

(3) ボランティア活動見学発表会

日 時：令和 4 年 3 月 8 日 (火) 10 : 00~11 : 30

会 場：名古屋 ECO 動物海洋専門学校 8 階講義室

内 容：学生が作成したボランティア活動現場の見学・取材結果を発表

3. ボランティア活動現場の見学・取材結果

(1) 「保護猫カフェ笑猫」の活動見学の発表

- ・ 猫のお部屋の掃除や消毒、庭の草むしりを体験した。
- ・ 人慣れた猫が多く、年間 70 匹と譲渡数が多いことに驚いた。
- ・ 全盲、分離障がいなど、猫の障害を個性として向き合いトレーニングされていると感じた。
- ・ 朝 7 時から夜 23 時まで猫とふれ合っている。自分の時間を犠牲にして猫の幸せな暮らしを支援している。猫に対する深い愛情を感じた。
- ・ 利益に捕らわれず、熱心に猫の幸せに貢献している姿に感銘を受けた
- ・ 動物看護師を目指す私たちにとって、とてもいい経験になった

【譲渡ボランティアからのコメント】

- ・学生に熱心に体験してもらえて、とっても嬉しかった。
- ・保護猫に対するイメージが変わったというコメントが聞けて嬉しい。



(2)「NPO 法人ファミリー」の活動見学の発表、感想

- ・家にいるような部屋の作りを工夫されていた、安心して譲渡されるように配慮してあった。
- ・里親を探す猫、ケアが必要な、老猫などに部屋が分かれていて、丁寧に対応されている。
- ・爪切りとブラッシングを体験。嫌がる猫もいる。毛並みがよくお手入れされている。
- ・ご飯は、きちんと体調や年齢にあったものを提供されていた。
- ・病院から処方された薬を与えている。点滴のときには、猫をやさしくなだめたりした。
- ・犬の散歩も体験。エレベータを使い足に負担をかけないように。高齢の犬のペースに合わせてゆっくり散歩し、おしっこやフンのお世話もしっかりされていた。
- ・スタッフさん同士が「連絡ノート」をつかってしっかり情報共有されていて、個々の状態に合わせた対応をされていた。
- ・猫の爪切りを体験して、慣れていなくて暴れる猫など、様々な性格の猫がいることを知った。それぞれにあった里親が見つかるといい。

【譲渡ボランティアからのコメント】

- ・ご参加ありがとうございました。楽しく体験できていたら嬉しい。
- ・点滴はできなかったけど、きっと動物看護師になればやることになるので、頑張してほしい。
- ・みなさんがボランティアに参加して知ったことや感じたことを、友達に知らせてもらえるだけでも大きな啓蒙になる。またぜひ遊びに来て下さい。



(3)「花の木シェルター」の活動見学の発表、感想

- ・作業ボランティアとふれあい体験を行った。動画にまとめた。
- ・施設全体は温かくて優しい雰囲気、とても清潔に保たれている。

- ・ 1階奥には、人なれしていない猫がいて、手前では慣れている猫がお出向かえしていた。
- ・ 後ろ足がない犬もいた。ケージと猫の多さにびっくり
- ・ 2階に子猫の部屋とふれあいルームがあり、そこでふれあい体験を行った。
- ・ 遊ぶのが大好きな猫が多くて、抱っこもできる猫もあり、譲渡しやすい猫が多い。
- ・ 小さな猫から生猫まで。ケージに2～3頭いて、固まって寝ている様子が見られた。
- ・ ケージの掃除を掃除機に行き、猫も慣れていて、床の掃除もしっかり行っていた。
- ・ 名古屋市の殺処分ゼロに向けた取組が、わかりやすく説明されていた。
- ・ 今回の体験を通じて、運営やボランティアの大変さ、動物について学んだ

【譲渡ボランティアからのコメント】

- ・ 動画のクオリティがとても高く、すばらしい。ぜひ改めて拝見したい。
- ・ 学生さんが来てくれて、とても嬉しくてありがたい。
- ・ 保護犬猫を知らない方に少しでも多く知ってもらい、誰でも知っている世の中にしていきたい。
- ・ 猫の爪切りも上手にやっていただき、とてもいい動物看護師になると感じた。
- ・ 我々の団体のような施設に入れる猫はごく少数で、入れない猫が何千倍いることを知っておいて欲しいし、どうやって救っていかけるか引き続き考え続けてほしい。



4. 発表会での意見交換

(1) 譲渡ボランティアからのコメント

- ・ こんな機会を与えてもらって、改めて深く考える機会となった。
- ・ 学生さんが真摯に取り組んでくれてとても嬉しかった。
- ・ 残念ながら亡くなってしまった猫との出会いもあり、命について考える機会にもなったのではないかな。
- ・ 猫は、私たちに不思議なメッセージをくれる。様々な境遇の猫がいるが、すべての命は平等なので、今後もいろんな関わりをもってほしい。
- ・ 今回の発表をお聞きして、いろんなことを感じ取ってくれたことがわかって嬉しかった。ぜひ素敵な動物看護師になってほしい。
- ・ 保護猫は奥が深い問題なので、また遊びにきてほしいし、引き続きかかわって視野を広げてほしい。
- ・ 現場には若い力が必要。私も Zoom に新しくチャレンジしている。ぜひみなさんも動物に興味

をもって、様々な取組にチャレンジしてほしい。ボランティアは人手不足なので、ぜひ情報発信などの面でも応援してほしい。

- ・ボランティア初体験の学生も多かった。何かやりたいという意欲を持っている学生も多いので、今回のようなことをきっかけになるといい。引き続きよろしくをお願いしたい。
- ・ありがとうございました。

(2) 学生からのコメント

- ・今、自分も保護猫を二匹飼っている。保護団体が保護している猫のように人なれしている。
- ・世間一般のイメージをもっと変えていけたら、ペットショップに行く前に保護犬猫を飼いたいという人が増えると思う。まずは、自分も周りの人に伝えていきたい。
- ・動画を作成し、学校の発表会でも発表できたらいい。今後は、ぜひ他の団体でもぜひ動画を作成させてほしい。

(3) 名古屋 ECO 動物海洋専門学校からのコメント

- ・今回、市からのご依頼を受けて、初めて取り組んで、とてもよかった。
- ・継続することで、理解のある学生が増えて、少しずつでも殺処分ゼロにも微力ながら貢献できると思う。他のボランティアにも行ってみたいという希望があり、今後も続けていきたい取組なので、ボランティアさんには、ぜひ引き続きボランティアとして受け入れていただければ幸いです。
- ・2年生の授業でまた発表してほしい。

(4) 名古屋市からのコメント

- ・本日はありがとうございました。発表を聞かせていただき、若い人のパワーを感じた。
- ・ボランティアのみなさんご協力ありがとうございます。
- ・現在、市内には 68 の譲渡ボランティア登録があり、譲渡犬猫の約 8 割が譲渡ボランティア経由となっており、多大なご協力を頂いている。
- ・今回、現場で学んだことや感じたこと、知ったことを周りの人に伝えてもらえることが大きな力になる。引き続きご協力をお願いしたい。
- ・学生さんにも新しい視点、経験を得てもらえた。譲渡ボランティア様からも好評の声を頂くことができたよかった。
- ・市の新しい取組として市の HP に発信するなど、今後もこうした取組を進めていきたい。
- ・人と動物の共生するまち・なごやを目指して、様々な関係者と一緒に進めていきたい。何か協力をしたいという人は、譲渡ボランティアが HP や SNS などで発信している情報を、シェアしてもらうことはすぐにできるので、そこからお願いしたい。

